

今週（5月30日から6月3日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/Nレートは、週を通じて▲0.08～▲0.01%と幅広い出合いが見られ、ラインの関係で一部に0.001%での出合いも見られた。無担保コールO/N加重平均レートは概ね▲0.05%を挟んだ推移となった。

調達サイドは引続き地銀、証券、信託、外銀が中心となっていた。地銀業態からの運用は、先週に比べると日銀当座預金残高の調整の目処がついたためか、減少に転じていた。31日には、月末であることを理由に調達を見送る先も見られ、オファーが残る状況となっていた。同様の動きは週末の3日も見られており、一部が調達を見送っていた。

ターム物は、1W▲0.03～▲0.02%、2W▲0.03%、1M▲0.032～▲0.03%と、日銀当座預金の調節の目処がついた先が、レートを切り上げたため、出合いレートがやや上昇していた。

●レポ市場

今週のGC O/N物は▲0.100～▲0.065%近辺の比較的広いレンジでの出合いとなった。30日から2日までのT/Nは▲0.090%近辺でのビッドが非常に厚く、その近辺を中心とした引き合いとなった。また、一部では業者の担保ニーズの買いや月末初要因から▲0.100%程度の出合いも見受けられた。2日のS/N(6/6-6/7)は短国発行要因から▲0.070～▲0.065%程度にレートを切り上げる展開となった。3日のS/N(6/7-6/8)では短国買入オペが通知されたものの、投資家の資金調達ニーズが強く、▲0.085～▲0.080%近辺での出合いとなった。

SC個別銘柄では、10Y336～342、30Y48～50、40Y8などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られている。

●短国市場

今週の短国市場は、特段材料も無く、週を通して小動きで閑散なマーケットであった。

2日には3M物の入札が実施された。平均落札利回▲0.2661%、按分落札利回▲0.2545%と堅調な結果であった。今月は短国買入オペの買入額が前月に比べて大幅に減額される見通しであることから、レート上昇も期待されたものの、WI取引で▲0.265%の買い気配が見られるなど一部の需要に引っ張られる格好となり、横ばい圏での決着となった。

3日に10,000億円で実施された短国買入オペは、平均利回較差+0.004%、按分利回較差±0.000%と引値の低い1Y物を中心に応札されたためか、小甘い結果となった。週末のレート気配は、3M物で▲0.26～▲0.25%、6M物で▲0.30～▲0.25%、1Y物で▲0.42～▲0.35%であった。

●CP市場

CP市場は、月初ということで入札件数・発行額共に少なく、鉄鋼、石油、ノンバンク等の業態からまとまった発行があったものの、週間では5,000億円程度の発行にとどまった。a-1格以上の発行レートは、引続き、概ね0%近辺での推移であったものの、先週のC P等買入オペでポジションの軽くなった一部ディーラーの積極的な買いからか、マイナス圏での決着も散見された。

また、金融法人が引き続き発行残高を落としているため、5月末の市場発行残高は14兆2,065億円と、前年同月比で大幅に減少した（2015年5月末15兆9,433億円）。資金調達ニーズが無くなった金融法人が2兆2,000億円減少する一方、事業法人は7,500億円増加するなど、対照的な動きとなっている。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
5/30（月）	17,068.02	△ 0.120	110.82	△ 0.054	△ 0.096	2,846,800
5/31（火）	17,234.98	△ 0.120	111.09	△ 0.054	△ 0.089	2,867,900
6/1（水）	16,955.73	△ 0.120	110.69	△ 0.054	△ 0.087	2,866,200
6/2（木）	16,562.55	△ 0.100	109.05	△ 0.055	△ 0.081	2,816,900
6/3（金）	16,642.23	△ 0.105	108.96	△ 0.046	△ 0.072	2,831,200

来週（6月6日から6月10日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/6 (月)					5月のFRB 労働市場情勢指数
6/7 (火)	5月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 4月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	30Y 8,000億円 6/20発行			4月の米消費者信用残高 1-3月期のユーロ圏GDP確報値
6/8 (水)	1-3月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50) 4月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 4月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 5月の景気ウォッチャー調査(内閣府 15:00)	TB6M 35,000億円 6/10発行	交付税借入 10,500億円 6/17借入		
6/9 (木)	秋田県金融経済懇談会にて中曽副総裁講演 4月の機械受注統計(内閣府 8:50) 5月のマネーストック(日銀 8:50) マクロ加算残高にかかる基準比率(日銀 17:00)	TB3M 44,000億円 6/13発行	5Y 24,000億円 6/20発行		4月の米卸売売上高
6/10 (金)	5月の企業物価指数(日銀 8:50) 4月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	エネルギー借入 6,000億円 6/20借入			5月の米財政収支 6月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/6 (月)	1,500	▲ 1,400	100	全店共通 成長基盤 CP買入 国債補完	▲ 5,800 ▲ 100 ▲ 1,600 200	3,400	▲ 3,900	▲ 3,800	TB3M発行▲44000償還44700
6/7 (火)	1,000	1,000	2,000	国債買入 短国買入		12,400 10,000	22,400	24,400	
6/8 (水)	0	1,000	1,000				0	1,000	
6/9 (木)	▲ 1,000	▲ 2,000	▲ 3,000	CP買入		4,500	4,500	1,500	
6/10 (金)	▲ 1,000	▲ 8,000	▲ 9,000				0	▲ 9,000	TB6M発行▲35000償還20600 10Y物価連動償還600 交付税借入▲10500期日10500
週 間 合 計	500	▲ 9,400	▲ 8,900	—	▲ 7,300	30,300	23,000	14,100	

6/6は日銀予想、6/7以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、20年債の発行などがあるものの、週を通して1兆円以上の変動は無いと見込まれる。
短国市場は8日に6M物、9日に3M物の入札が実施予定となっている。6M物は引続きオペ見合いの買いが入ることで堅調な結果が予想されるものの、3M物は海外勢の動向次第では小甘くなることも予想される。
CP市場は賞与・配当等に備えて資金を調達する動きが期待され、活発なマーケットになることが予想される。また、CP等買入オペが6日に予定されており、オフアー額や落札水準に注目したい。

主要なイベントとしては、8日の1-3月期のGDP2次速報などが挙げられる。また、2016年6月～8月積み期間に適用される基準比率が9日の17時に公表される予定となっている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入